

建部

キラリ

No.1

令和6年4月発行

編集・発行 建部地区まちづくり協議会 広報企画部会



♪ 発行によせて ♪

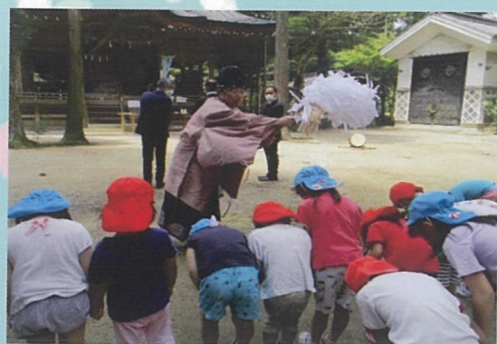
建部地区まちづくり協議会(通称:建部まち協)では、季刊誌『建部キラリ』を4月より発行いたします。小さな地区でも『キラリ』と光る地域にしたい思いで名付けました。

令和2年1月からの新型コロナウイルスの感染拡大は、人々の生活様式を内向きに変化させ、コミュニティの分断を起し、住民の心を疲弊させました。昨年5月に5類に移行し、社会では普段の生活を取り戻そうとの動きがありますが、まだコロナ禍前には戻っていない状況です。その間も少子高齢化、生活様式の多様化などが進み、コミュニティの活気は薄れつつあり、惣村文化の中で育まれてきた豊かな伝統と文化が消えつつあります。

そのような中、何とか建部地区に活気を取り戻そうと、地域の良さを掘り下げ、地域の魅力を紡ぐ広報誌として、『建部キラリ』を創刊することになりました。春夏秋冬の年4回ですが、広報企画部会が中心となり発行してまいります。建部地区では、既に『たてべだより』が毎月発行されていますが、今後も今まで通りコミュニティセンターが中心となり、各種団体の活動記事や案内記事を掲載してまいります。

引き続き愛読くださるようお願いいたします。

建部幼稚園では「自分で考えること」を大切に、毎日「わくわくにこにこもりもり」ころとからだを動かしながら、元気いっぱい遊んでいます。四季折々の自然と建部地区の温かい人々に包まれ、太陽をいっぱいあびて繰り返し遊ぶ中で、子どもたちは多くのことを学んでいきます。一緒に過ごす友達は宝物、思いや考えを伝え合いながら仲間づくりをしています。手間ひまを惜まず、今日も一人一人へ愛情いっぱい楽しい保育を展開します。



たてべようちえん
げんきいっぱい
ゆめいっぱい
えがおいっぱい



- あいさつができる
- 自分のことは自分でする
- 自分の気持ちを伝えられる
- 思いやりの気持ちを持つ

建部幼稚園での3年間でこれからの人生の基盤になります。優しさ、思いやり、愛があふれる建部地区での保育は、素直な気持ちを育てる最高の環境です。子どもたちの可能性は無限大です。毎日の経験がかけがえのない財産になります。ぜひ、建部幼稚園へ遊びに来てください。

建部の自然

河辺いきものの森の物語

河辺いきものの森の施設整備事業は1999年から2001年までの3年を経て整備され、25年近くの歳月をさざみました。NPO法人遊林会をはじめ、ボランティア団体、地域の住民の活動により、多くの学校の環境学習や市民の自然観察、体験学習の場として利用されています。三重県や奈良県などの小学校からも来られています。年間12000人の来場者があります

遊林会は河辺いきものの森の整備事業が始まる前年に発足しました。河辺いきものの森の保全を各団体の中心になって行ってきています。

取材当日は、子どもたち向けのイベント「モリイコ」が行われており、スタッフの皆さんの紙芝居や森のお話に、子どもたちは盛り上がっていました。

取材したお話の中で特におもしろかったのは、「ドングリ(イモムシ)虫を食べた」(遊林会事務局長熊木さん談)です。クヌギなどドングリの中には、小さなイモムシが入っています。ドングリ虫を素揚げにして食べてみると…何とナッツの味がして以外と美味しいとのことでした。

建部まち協は心強いパートナー

建部まち協の「たてべまつり」のイベントには、遠く大津市や彦根市からも来場され、河辺いきものの森や遊林会の活動が広く知られる機会となっていますとのことでした。



建部の福祉

=建部下野町の「カルナハウス」さんをご紹介します=

法人名：社会福祉法人慈照会
 事業開始：平成9年12月1日
 事業所名：デイサービスセンターカルナハウス(定員30名)
 ショートステイカルナハウス(定員16名)
 特別養護老人ホームカルナハウス(定員54名)
 ケアハウスカルナ(定員15名)
 カルナホームヘルプサービス
 ケアプランセンターカルナハウス



施設長からのメッセージ

建部地区の皆さまには日頃より大変お世話になっております。現在、当施設は介護ロボット、床走行式介護リフト、マッスルスーツ(着る筋肉)、眠りスキャン(見守り支援システム)、インカム(相互通信式構内電話)、記録の電子化を導入し、職員の負担軽減や入居者の皆さまのより良い介護に繋がるように努めています。

地域の公益的な取組みとして、サロン支援、羊のプロジェクトを実施しています。羊の飼育期間(4月末~10月中旬)には、気軽にお立ち寄りください。今後も地域課題への取組みと共にサービスの質の向上に努めて参りますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

※羊のプロジェクトでは、建部まち協のメンバーが柵作りや羊の世話を手伝っています。



東近江市は県内トップのイチゴ産地ですが、建部下野町には2軒のイチゴ農園があり、甘くて美味しいイチゴが販売されています。収穫期は12月下旬から5月末までで、直販もされていますので是非お買い求めください。

🍓 小泉ベリー園 🍓 (代表：小泉雅行 090-1679-0632)

雅行さんは44歳で脱サラし、農業大学で1年間イチゴ栽培を中心に学び、2021年6月に義父の満司さんが19年間栽培していたイチゴ園を引継ぎました。

「あきひめ」「やよいひめ」の2品種を作っており、「きてか～な、フレンドマート、市場」などに出荷しています。

また、ブルーベリーの栽培にも取り組み、6月中頃から8月中旬にかけて「きてか～な」で販売しています。

将来的には、イチゴかブルーベリーのどちらかの規模を拡大していきたいとのことです。

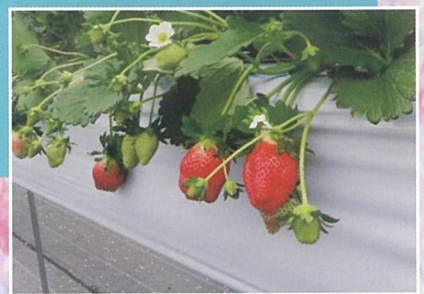


🍓 河辺いちご 🍓 (代表：高木武 090-3286-6797)

武さんは55歳のJA職員時代に、定年も近くなりこれから農業は多角化が必要との思いでイチゴの栽培を始まりました。

親戚の人や知り合いの方に手伝ってもらいながら、約20年間栽培してきました。今は奥さんの鈴子さんと一緒に「あきひめ」「よつぼし」の2品種を作っており、直販を中心に「きてか～な」にも出荷されています。

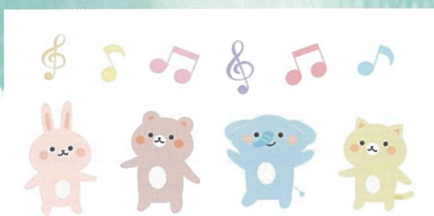
武さんは大規模な米作農家であり、現在は米8ha、麦4ha、大豆4haを耕作されており、地域農業に貢献されています。



～春の養生～

春は、入学、就職、転勤など環境が変わりやすくストレスがたまりやすい季節です。東洋医学では、春は「肝(かん)」の季節とされています。肝は、春の草木のようにのびのびと動くことを好みますが、ストレスにより肝の気血の流れが滞ると、肝とかかわりの深い目や筋肉の調子が悪くなったり、感情や情緒のコントロールがうまくいかなくなったりします。

そのため、ゆったりとした気持ちで過ごすことを心がけ、肝を養い気血のめぐりを良くする酸味のあるもの、香りのある食材がおすすめです。(酢、梅、柑橘類、トマト、イチゴ、玉ねぎ、ジャスミン茶など)



お問い合わせ先
建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター
TEL・FAX:0748-22-0303 IP:5801-0303
Mail : tatebe-machiky@e-omi.ne.jp

公式LINE
建部地区まちづくり協議会&コミセン

